

【ゲーム領域分科会 研究協議会記録】

◆ゲームの内容について

- 規則の工夫について。規則の工夫など飽きさせないための手立ては？
→規則の工夫の視点は得点の方法やプレーヤーの数、コート作り、プレー上の制限、用具の工夫などが考えられる。学習課題を、単元前半は規則の工夫、単元後半は作戦の工夫とする。
- リスタートの際の守備の位置はどこからなのか。
→ボールを進めたところまでが陣。守備側の位置は、児童と話し合っ決めて決めるのもよい。
- 3・4時間目の学習課題となる「ボールを前に進めるための攻め方」に関して技能は教師が示すのか？
→手渡しをしている児童、ボールを受け取る動きを価値付けて広めていく。教師が示すのではなく、児童に気付かせていく。
- 手渡しパスに限定した意図は？守備側はボールに群がってしまうのでは？
→パスありだと陣地を一気に前に進めてしまう。陣を前に進めて行く特性を味わわせたい。
また、パスありだと捕る技能も必要になる。3年生では、ボール操作をできるだけ簡単にしたいと考えた。
- このゲームを選んだ部会の意図は？
→部会ではまずラグビーとアメフトの分析をした。陣地をどこまで進められるかということが特性である。
アメフトはボールを前に投げられるが、陣地をじわじわ前に進めるという特性にこだわってゲームを開発した。
- ボールを持たない時の動きがボール運動にどのようにつながるのか。
→ボール保持者に近付く動きはタグラグビー、フラッグフットボールどちらにもつながる動きと考えている。

◆規則について

- 1・2時の学習課題「みんなが楽しめる規則を考えよう」…3時以降、規則に納得のいかない児童が出てきた場合は？
→規則がまとまっていない場合、3時間目も規則の工夫を考えることができるようにする。
ただし、あまりに時間がかかる場合、教師が整理し、合意形成を図ることも考えられる。
- はじめの規則について。なぜ4対4のオープンナンバーなのか。攻撃不利ではないか。
→実践を通して攻め有利のゲームになっていると考えた。
- 作戦の深まりについて。年間指導計画の中での位置付けは？他の型のゲームとの関わりは？
→3・4年で1度経験し、5・6年生へつなげる。他の型との繋がり、配列に関しては今後検討していく。

◆振り返りについて

- 振り返りの児童の姿として、1～4年生それぞれ段階的にどこまで目指すのか。
→振り返りを通して3つの資質・能力を育てていきたい。
考える力、友達の考えを認める力が身に付くのではと考えている。具体的な姿は実証授業で示したい。
- 「根拠をもちながら考えを発表できるように」というのは、3年生では難しいと感じた。そのための手立ては？
→根拠を引き出す発問をする。どうしてその規則がよいのか、作戦がよいのか考えることができるようにする。
- 振り返りをして課題に対する練習を行わないのか？
→振り返りを受けて、動きの確認をすることもできるような時間を設定する。

【指導・講評】村山学園(武蔵村山市立第四小学校) 副校長 石田 玲奈 先生

◆本日の感想

- 施設一体型の小中一貫校で中学生の実態を見ると、小学校の6年間を見通して力を付けていかななくてはならないと感じている。
- このゲームを通して3つの資質・能力がバランスよく育まれるかを検討することが大切である。
- 低学年での鬼遊びの経験によって今回のゲームの様子も変わってくる。児童の実態によってゲームの内容を検討していくことが大切である。
- その時間の学習課題を受けて児童一人一人がどんな課題をもち、どんな活動に取り組むのか考えることが大事である。
- ボール運動系の学習内容について、現行学習指導要領と新学習指導要領をもとに考えてみると・・・
パスなしで陣を進めることが有効ではないかというのが今回のゲーム部の提案。様々な実践を通して検証してほしい。

◆ゲーム部の資料に基づいて

- 研究主題に迫るための手立て
 - ・振り返りについて…時間の設定だけではなく、振り返る内容についても検討するとよいのではないかと。「何をどのように」振り返りの場面と方法については本時の展開に入れる。
 - ・「児童の具体的な姿」を想定した上での指導と評価…評価については、実証授業までには整理して、提案してほしい。
- 作戦について
 - ・ゲーム部の資料にある作戦例「盛り上がりそう」「励まし合おう」「声を出そう」でよいのか。
→ゲームの型の特徴に合った攻め方を知ることができるか。関わり合いをベースとして、動き方に重点を置いた作戦が出てくるのではないかと。攻めるために有効な作戦、得点を取るために有効な作戦がゴールなのではないかと。
 - ・作戦があった上でチームの学習課題、個人の学習課題があるのではないかと。
 - ・今回のゲームの魅力を見事に味わわせるための作戦、そのための学習活動を設定する。
- 新学習指導要領「表現力」の文言について…伝え合う活動が、視覚的に分かるように指導案の中に入れ込んでほしい。